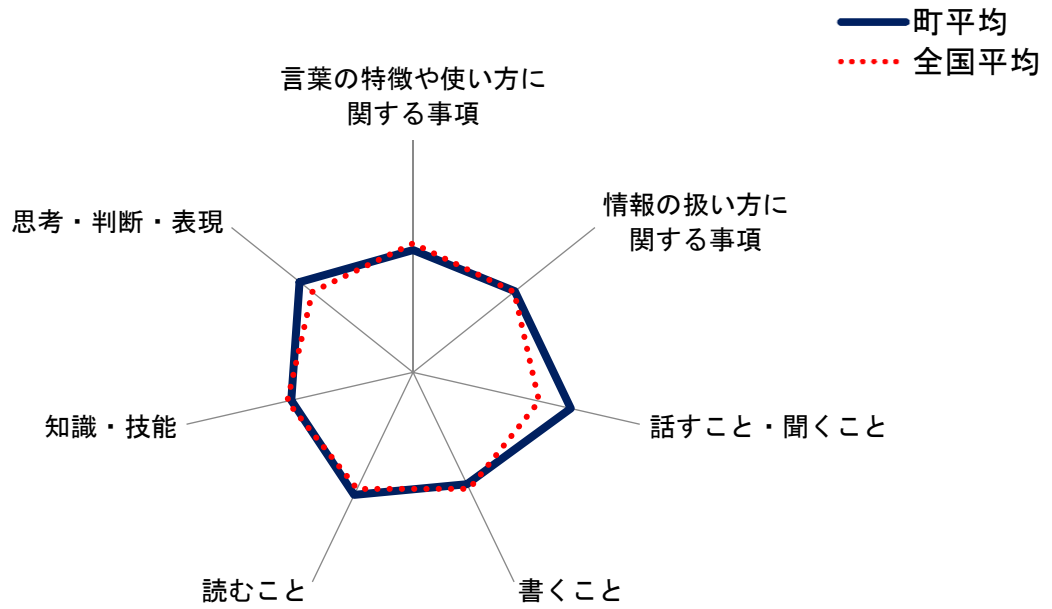
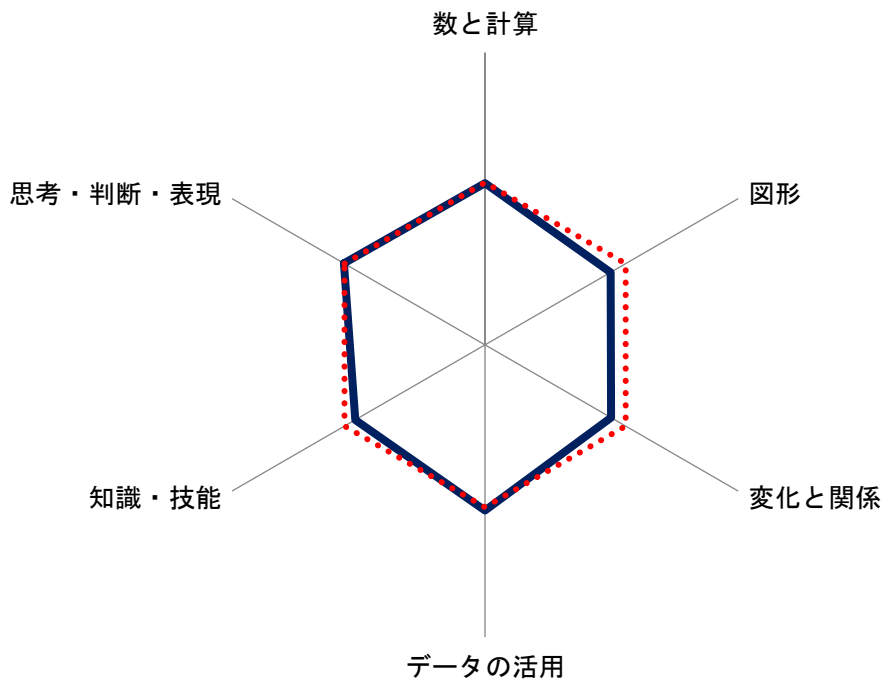


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

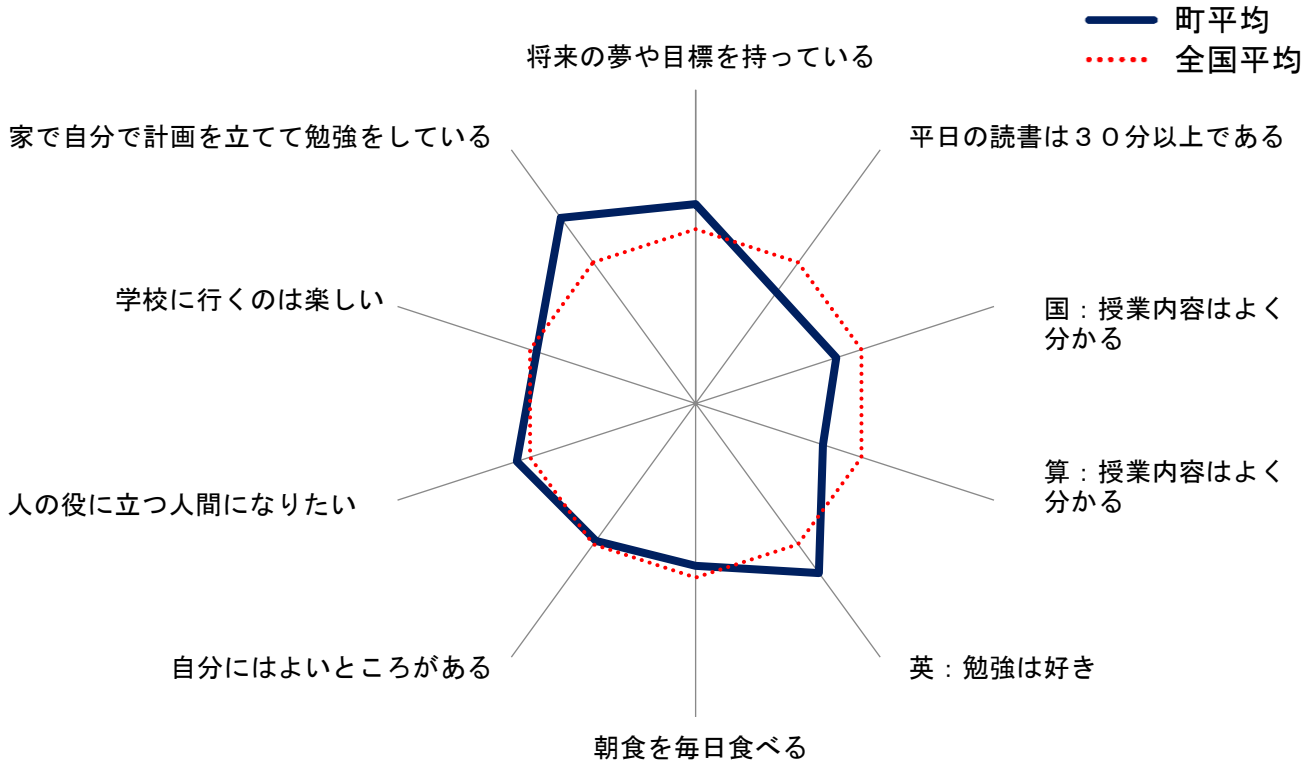
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「話すこと・聞くこと」の項目が全国平均を大きく上回っているが、算数は「図形」「変化と関係」の項目をはじめ、ほとんどの項目が全国平均を下回っており、基礎的な知識及び技能の定着に課題が見られる。今後は、これまで培われてきた愛媛教育のよさと適切なICTによる教育を効果的に組み合わせることで、より質の高い授業改善に取り組んでいくことが望まれる。

児童質問紙調査では、「家で自分で計画を立てて勉強をしている」「将来の夢や目標を持っている」などの項目が全国平均を大きく上回っており、キャリア教育の充実と主体的に学習に取り組む態度の育成を図る取組の成果がうかがえる。一方、「平日の読書は30分以上である」、国語、算数の「授業内容はよく分かる」などの項目が全国平均を下回っている。今後は、学力向上の基盤となる読書習慣の確立に向け、読書活動のより一層の充実に向けた取組と、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善をより一層推進することが望まれる。